Clinic Introduction

vol.**36**

目標は『ぴんぴんころり』

~You and me, me and you, Let's PPK.~

私は現在、祖父、父の後継者として当院の院長を務めて おります。祖父は、軍医で出征していた満州から帰国後、旧 市木村の村長と医業を両立させて地域に貢献していまし た。昭和47年に持病の悪化にて61歳で他界しましたが、今 でも当時のことを懐かしく話してくれる患者さんもいらっ しゃいます。この頃父は、広島県の戸河内病院に勤務してい ました。祖父が亡くなり、郷里が無医地区になることを知り、 すぐに勤務を辞めて市木へ帰って来ました。しかし、次第に 過疎化の進む地域で家族を養い、医業を続けることは困難 と判断し、昭和53年に現在の酒井外科内科医院を開業しま した。当時、旭町には一地区一医院あったようですが、医師 の高齢化や後継者不在のため次第に地域医療も衰退して 行きました。私は東京医科大学を卒業し、広島大学医学部 第1外科に入局し、研修医を経て、大田市立病院、JA広島総 合病院、安芸太田町戸河内病院などに勤務しました。将来は 郷里に戻り地域医療を担うつもりでいたので、それに必要 な経験が積める病院に勤務をさせて頂き、多くの症例を学 びました。平成17年、市町村合併と同時期にあさひ診療所 開設の運びとなり帰郷することとなりました。しばらくは親 子二代で旭町の地域医療に尽かせて頂きましたが、父も持 病が悪化し、当院は一時閉院を余儀なくされました。しかし、 地域住民の強い要望や激励、浜田市診療所連合体のご理 解、当院職員の援助により部分的に再開し、平成22年に承 継開業いたしました。

当院では通常の外来診療だけでなく、送迎車通院や定期 的な在宅訪問診療の受け入れを行っています。浜田市山間 地の医療圏域を扇に例えると、その要は浜田医療センター となりますが、通院手段のない方や慢性疾患の長期療養の 方、そして老衰や終末期医療の方を全てその要に集中させ ることはできません。よって地域末端に居ながらも自宅から 通え、自宅で療養できる方法を患者さんやご家族と話し合 い、そのことを理解して頂くことも大切です。またひしひしと 迫り来る介護問題も直視しなくてはなりません。そこで私は 自分自身の介護予防の取り組みとして、またライフワークを 充実させるためにトライアスロンという競技を始めました。 トライアスロンとはスイム(水泳)バイク(自転車)ラン(長距 離走)を一度に行う持久競技です。距離の長いものでは10 時間以上も体を動かす過酷なものもあります。そのトレー ニングを通じて、運動することの大切さやレース完走という 目標を持つことの楽しさを伝えていければと思っています。 また、ジュニア講習会や中高年メタボ対策講座など地域の 方々の運動意欲の動機付けになるイベント開催も今後考え て行きたいと思っています。そして、10年後にはスポーツジ



ム型のデイサービスを運営しながら、娘や息子たちとトライアスロンをしていたい、30年後も現役で診療を続けながらもトライアスロン完走を目標に頑張っていたい、50年後も

ぴんぴんと身体を動かせる喜びを 実感していたいと思っています。 そして、ころりが来たらならば、そ れがLife is overとなるのです。

酒井外科内科医院は、これからも皆さん一人ひとりのことを思い、地域に根ざした安心できる医療を提供していきたいと考えています。



「今年は東京マラソン、宮古島と皆生で開かれるトライアスロン大会へ出場する予定です。そのため、これからもトレーニングを積んでいきます。昨年、トレーニングの一環で江の川全長に沿って200キロ自転車で走りました。江の川の源流が(瑞穂市木の)阿佐山だったことには驚きました。それから江の川鉛線の三江線が廃止になるのは…寂しいなあ」と語られた先生は穏やかさと力強さ兼ね備えた方でした。



酒井外科内科医院

院長 酒井 龍司

〒697-0425 島根県浜田市旭町今市412-1 ☎0855-45-0222 FAX0855-45-0224

診療科目/外科、内科診療時間/毎週月~金

参療時間/毎週月~金 外 来⋯8:30~12:00、16:00~17:30

訪問診療…|4:00~|6:00

休 診 日/土・日曜日・祝祭日、お盆、年末年始

上田医院 上田 敏明 院長

Clinic Introduction

vol.**37**

丁寧に話を聞いて一緒に悩んで問題の解決を

続いてご紹介する先生は、邑智郡邑南町の上田医院・ 上田 敏明 先生です。

私は昭和25年に旧瑞穂町で生まれ、父は公務員、母は農業を営んでおりました。浜田高校から広島県新庄高校を経て昭和43年に広島大学に進学し、卒業後第2外科に入局しました。浜田高校の同級生には江津市の沖田泰治先生、浜田市の河野道久先生、齋藤寛治先生がいます。

昭和57年に当時の瑞穂町長から熱心に誘われて無医地区だった市木に開業しました。臨床経験が少なく初めの数年間は本を片手の診療で不安はありましたが、地区の皆さんの温かい理解と支援がとてもありがたく、今日までなんとかやってこれました。平成23年4月に病気療養のため約1ヶ月休診しましたが、この時の経験から患者さんの気持ちが今まで以上に分かるようになりました。

地域に根ざした医療を地道に展開していくために、まずは患者さんとご家族から丁寧に話を聞かせていただいています。地区の家庭医的な立場で総合診療を目指しており、なんでも相談に乗り必要なら然るべき病院や介護施設へ紹介するようにしています。当院は邑南町にありますが患者さんの7割近くは浜田市旭町の方で、また旭町の老人ホームで配置医をしておりますので必然的に浜田医療センターへの紹介が多くなります。石黒院長先生、循環器内科の明石先生、松田先生は当院へ来訪していただき顔の見える関係です。電話や紹介状のやりとりだけでお世話になっている先生もたくさんおられます。いつも快く引き受けていただき大変感謝しています。

人口減少、少子高齢化が言われて久しいのですが、 訪問診療で地域を回っていると空き家、耕作放棄地の 多さにも驚かなくなりました。この地域でも高齢化率は 高く、高齢者の一人、二人世帯が急増し、老老介護は 当たり前で認認介護も珍しくない状況になりました。当 院においても外来患者数の減少傾向は続いており、そ れ以上に訪問診療数は激減しました。スタッフの確保と 高齢化も心配の種で、実際この4月から人手不足で胃 内視鏡を取りやめました。数年後には老老診療も現実の ものとなります。そんな中でも、限られた医療介護資源 を活用して病診連携を含む多職種連携の強化と地域包





括ケアシステムが構築されていくことに期待しています。そのためには地域住民の理解と人材の育成確保が鍵になります。当院もこの流れの中で立ち位置を確認し、さらに地域医療に貢献して行きたいです。

「休診日の木曜日午後には邑智郡医師会の先生とよくゴルフをしています。先週も先々週も雨でゴルフに行けなかったので、次こそは晴れてくれることを期待しています。」と語られた先生は一緒にいると心が落ち着くようなお優しい方でした。



上田医院

院長 上田 敏明

〒697-0631 島根県邑智郡邑南町市木2161-1 ☎0855-85-0070 FAX0855-85-0070

診療科目/内科、外科 診療時間/毎週月〜水、金・・・8:30〜|2:00、|6:00〜|7:30 木・土・・・8:30〜|2:00 休 診 日/木・土曜日午後、日曜日、祝祭日